

圧縮型工業発展

ホフマン法則とガーシェンクロンモデル

W24-0217 オカンボス テレサ



ホフマン法則とは？

ガーシェンクロンモデルとは？

圧縮型工業発展の事例 韓国

参考文献

目次

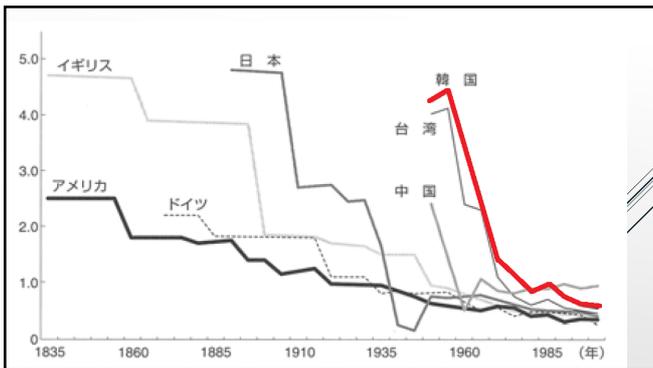
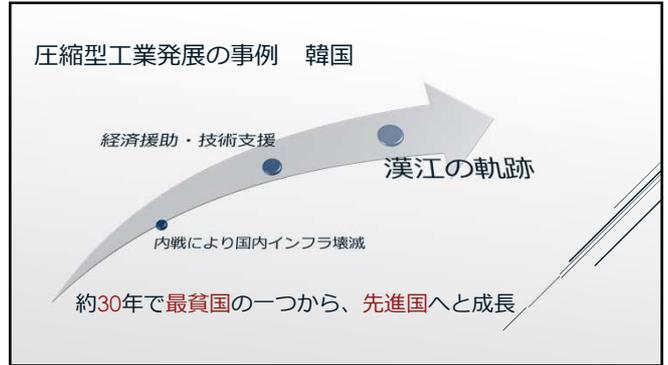
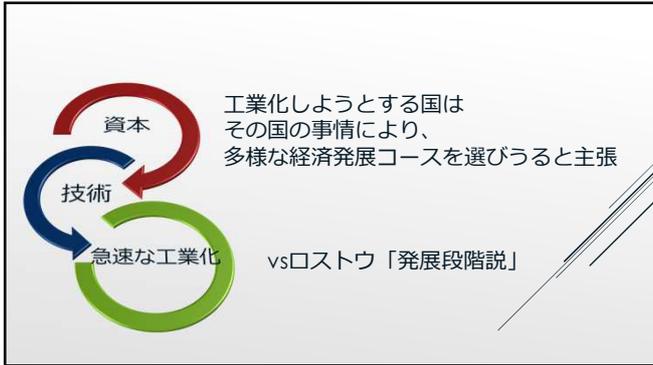
消費財生産
(ホフマン比
経済発展を

消費財産

ホフマ

後発国は後発であるがゆえに、
先進国の数多くの技術の利用が可能であり、
発展のための様々な条件を活用でき、
先進国よりも迅速な発展が可能とする理論
後発性利益

ガーシェンクロンモデル



- 圧縮型工業発展の事例 韓国
- 韓国経済発展の特徴
- ① 大企業・重化学工業中心の特定産業政策
 - ② 国内産業の保護と発展
 - ③ 輸出中心政策による国民所得増大
 - ④ 政府による特化産業指定

玉木俊明「ガーシエンクロン著「歴史的観点から見た経済の後発性」が持つ今日的意義」『京都マネジメント・レビュー』2005。

李 恩薫「韓国の経済発展と韓国的資本主義の課題」『三田商学研究』2009。

渡辺利夫『開発経済学入門』東洋経済新報社、2014年。

参考文献